

明る い安八

2026年

1月

第50号

発行責任者

日本共産党

安八支部

連絡先

西松 忠男

TEL 64-2391

(FAX兼用)

物価高騰で家計は悲鳴、住みよい安八町へ！

消費税減税、福祉、くらし向上へ西松幸子議員新たな決意



明けましておめでとうございます。
昨年は、安八町合併七十周年記念事業があり、様々なイベントが催されました。12月30日には「交響曲第9番」を合唱する「安八音楽祭」が初めて開かれ、七百人の聴衆で埋まりました。

安八町では12月議会が終了しました。私は、

① 新年度予算編成の基本姿勢について
② 新高校生の学習用タブレット負担について

の2点について質問しました。

今後も町民のみなさんの願いをまっすぐ町政に届けていきたいと決意しています。今年も民生文教常任委員会委員長として頑張つてまいります。

町会議員 西松 幸子

新年度予算編成の
基本姿勢は!!

現在進められている新年度予算編成について、西松議員は福祉や教育、暮らし向上を重点にすべきと述べ、見解を求めました。

【答弁】

これに対し町長は、国からの交付金を町民のニーズに合った活用方で物価高騰対策に対応していくと答弁しました。また、アンヒルパークや北部公園の再整備やフレイル予防に注目し、いろいろな事業推進を図りたいと答弁しました。

新高校生の

学習用タブレット

自己負担について

県教育委員会は、新年度から県立高校における「タブレット購入費」の全額保護者負担を発表しました。

保護者からは6万円から

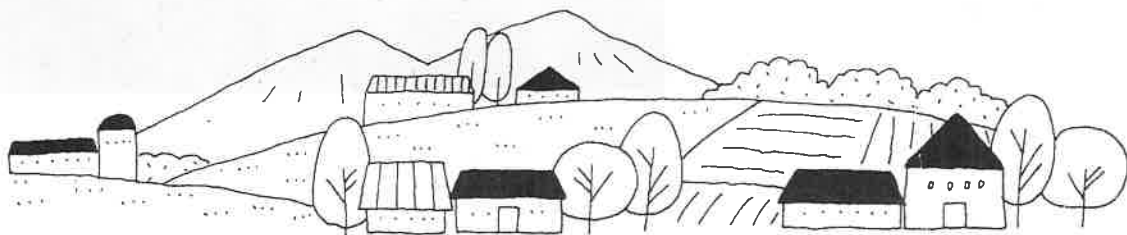
10万円かかるタブレットの負担は重すぎると見直しを求める運動が起きています。

西松幸子議員は、県教育委員会へ見直しを求めるとともに、町としても補助の見直しをすべきではないかと見解を求めました。

【答弁】

これに対し、田中こども家庭課長は、県の今後決定される方針を注視し、保護者へ情報提供を行うと答弁しました。

その後行われた12月県議会では“保護者負担”から“希望者貸与”へ方針が修正されました。



あんぱち音楽祭 200人が第九合唱

町合併70周年事業

安八町中央公民館で30日、町内外から集まった約200人がベートーベンの「交響曲第九番」を合唱する「あんぱち音楽祭」が初めて開かれた。

町合併70周年記念事業で、8～92歳の幅広い世代が約7カ月の練習を重ねてきた。この日、参加者は愛知室内オーケストラや町出身のソリストらとステージ



オーケストラと共演する町内外からの約200人の参加者たち。安八町中央公民館で



2026年度 予算要望書

1. 深刻な物価高への町民の暮らしを応援する有効な支援策を引き続き強めること。

国の「重点支援地方交付金」は、生活に密着した様々な支援策の活用を。

2. 公共料金の抑制とともに、子育て支援、高齢者、障がい者対策の維持・拡充を。
3. 猛暑対策、災害対策から体育館へのエアコンの早期設置を。
4. 若者が住みやすく魅力あるまちづくりへ、引きつづき定住対策の強化を。
5. 外国人への排外主義ではなく、共生できる必要な対策の強化を。
6. 「マイナ保険証」の使用は37%程度と国民の不安は依然として高い現状にある。その強制を止め、マイナ保健証でなくても安心して医療にかかれるように、必要な対策を国に強く要請すること。

7. 防災公園の早期着工を。
8. 中央公民館の和式トイレを洋式にしてください。

2025年12月15日 町長と懇談



ロームカウチ氏と町内の子どもたちが制作した70周年記念事業の作品
(安八温泉)